あの惨禍を二度と繰り返さないために、「体験者」の記憶を記録し、 先の大戦を記憶する「体験者」が高齢化し、少なくなっている今、 後世に伝え、平和について考えていきたい。(1日号で連載予定) 終戦70年を迎えた。平和とは何か、私は今、何をなすべきか。

悪化する中、爆弾を装 戦死した。いわゆる「特 作戦で、多くの若者が 撃するという捨て身の を生き抜いてきたのだ を受け止め、あの時代 んな思いでわが子の死 んな気持ちだったの 「伯父は、本当はど 飛行帽姿の肖像画が掛

その一番隊は194 本堂には暢夫さんの 一枝さんが愛媛県

を訴えているのか。首 見つめた大きな瞳は何 けられている。じっと マフラーは、暢夫さん 元に巻かれている白い が日本を離れる直前、

うが、本堂に飾り続け られる肖像画を、どん きで、模型を作って飛 年に97歳で亡くなっ な思いで見上げていた ばしていた。一緒に遊 くを語らなかったとい た。 戦争については多 暢夫さんの父で布教 一枝さんは2000 住した。暢夫さんの弟 っていた。飛行機が好 を嫌って、よく逃げ回 (86)は「兄さんはお寺 で、前住職の英夫さん んでくれて、優しい兄 紙やハガキを見ながら のだろうか。 保管していた。この手 枝さんは大切に大切に を何通もしたためた 人ひとりに宛てたもの (写真下)。それを一 枝さんは何を思った

使だった文雄さんは1そうに語る。 さんだった」と懐かし

935年、本願寺が設

暢夫さんは17歳の を公人さんが教えてく

感じさせるエピソードう。 子を思う母の思いを 引に乗り込んだとい その数日後。「近所の

暢夫うです。家の前には『谷 識が建てられ、往来の 家』『軍神』などの標 暢夫海軍少尉出生ノ ハが知らせてくれたそ あ!」と思わず声を漏 打ち寄せ、そのしぶき がかかった瞬間、「あ を投げた。大きな波が れ、海に向かって花束

戦況は悪化し、

特攻で失った大切な 聞いている」と公人さ を下げる人があったと たびに立ち止まって頭

時、難関といわれた甲 れた。当時、一枝さん さんもフィリピンに渡 ように頼んでいた。岐 せ、顔を見せてくれる 時を一枝さんに知ら で岐阜駅を通過する日 阜駅で列車の窓から顔 った暢夫さんは、列車として出撃。しかし、 隊に転属することにな たことから、徳島航空命令を受けた。21日、 説教所を行き来してい 4年10月19日、特攻の は岐阜の寺院と京都のった。そして、194 敵機動部隊を発見でき 暢夫さんは「敷島隊 続き、5回目の出撃と はそのまま帰ることが ず帰投した。出撃して なった25日、暢夫さん 暢夫さんの戦死が家 している。「空っぽの 母に、父は『涙をこぼ 遺骨箱を見て涙を流す

T・明教寺住職の谷公

キが大切に明教寺に残

出した列車に窓から強族に伝えられたのは、

た」と話すのは 暢夫さ を人には

言えなかっ 特攻隊で戦死したこと

ん。20歳だった。

「最近まで、伯父が

その一人が谷暢夫さ

を喜ぶ親なんて…」と ね、わが子の壮絶な死 大粒の涙があふれ出 た。でも 祖母はきっと肌身離さ 失った母の深い悲しみ ず、これを持っていたを伝え続けたい。特攻 『反省録』が出てきた。といけない。わが子を 伯父の予科練時代の とは絶対に否定しない んでしょうね。特攻隊という作戦の悲惨さ、

テ島のタクロバンを訪 行場があったルソン島 歳だった一枝さんはフ なった場所であるレイ のマバラカット、亡く ィリピンを訪ねた。飛 1975年、当時72 ことは、絶対にしては と伝えていかねばなら 隊を美化するようなこ ならない。そして特攻 なんて生み出すような戦争の悲惨さをちゃん

静かに語った。

ないと思っている」と

まれた兄の葬儀を記憶 英夫さんは本堂で営 と重なる。昨年は暢夫 25日に報恩講を営む。 らしたという。 さんが戦死して70年。 暢夫さんが戦死した日 明教寺では毎年10月

ようやく公人さんも伯

父と向き合えるように

なったという。

とうしたのだと納得す …。 兄がどんな気持ち るしかなかった。そう 遺品を整理していたら 今でも泣けてしまう が自ら望む人生をまっ つけていた。兄さんの 泣くな』と何度も叱り したらあかん、泣くな、 (写真の)顔を見ると かった。遠くて手の届 も生々しくて見ること らなかった。 向き合っていいかわか かない、重たくてどう ができず、向き合えな 紙や所持品などの遺品 「残された 匹、祖母の 私には何 た祖母だ 伯父の手

「ようやく向き合えるように」 3年間、パイロットと 種飛行予科練習生(予 97人の少年たちと約 中から茨城県の土浦海 しての基礎を学び、 ら志願選抜された10 期生として全国各地か 軍航空隊に入隊した。 この予科練で、甲飛10

口戦で出撃、フィリピ 編制された。25日にゼ 神風特別攻撃隊として 4年10月、海軍による

ノ沖で米艦隊に体当た